

医療の達成度、患者満足度に係る調査

本報告書は、中央社会保険医療協議会診療報酬基本問題小委員会の付託をうけた診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会の議論を踏まえ実施された、特別影響調査「医療の達成度、患者満足度に係る調査」を取りまとめ報告するものである。

この報告書は、以下の2つの特別調査の報告からなる。

I. 医療の達成度調査

納得できる質の高い医療が達成されたか、DPC 導入後の変化を医師または看護師などの医療従事者側の観点から調査した。

II. 患者の満足度調査

DPC 導入による医療効率化が進行するなかで、患者側からみて納得できる医療展開であったか、退院まで問題がなかったかを患者側の満足度の観点から調査した。

目次

第1章 研究概要.....	1
1. 研究の概要.....	1
2. 調査の概要.....	3
3. 調査結果の概要および今後の活用.....	5
3-1. 調査結果の概要.....	5
3-2. 研究により得られた成果の今後の活用・提供.....	6
第2章 調査結果.....	7
1. 医療達成度調査.....	7
1-1. サンプル数および回答者の属性.....	7
1-2. 調査結果.....	8
2. 患者満足度調査.....	109
2-1. サンプル数および回答者の属性.....	109
2-2. 調査結果.....	110
3. 前年度調査結果との比較分析.....	128
3-1. 比較分析の方法.....	128
3-2. 比較分析の結果.....	129
第3章 アンケート調査票.....	137
1. 医療達成度調査アンケート調査票.....	137
1-1. DPC病院および試行的適用病院対象調査.....	137
1-2. 調査協力病院対象調査.....	141
2. 患者満足度調査アンケート調査票.....	145
2-1. DPC病院および試行的適用病院対象調査.....	145
2-2. 調査協力病院対象調査.....	147

第1章 研究概要

1. 研究の概要

(1) 研究要旨

DPC 導入による診療現場への影響を評価することを目的として、患者側の満足度の観点と医療従事者の側の医療の達成度の観点からアンケート調査を実施した。調査は、DPC 病院ならびに試行的適用病院、調査協力病院で行い、医療達成度調査については医師および看護師を対象とし、患者満足度調査については調査期間の間に退院を予定する患者を対象とした。

その結果、医療の達成度についてはおおむね高い評価となっており、特に入院目的については大部分が達成できていると評価していた。一方、DPC に対する理解度は、医師の場合は比較的 understanding が進んでいるものの、看護師については非常に理解が低いことが明らかとなった。また、職員は少なからず DPC 導入に伴い医療内容が変化していると感じており、具体的には、入院期間の短縮や患者への説明の増加、クリティカルパスの利用の増加、コスト意識の高まりといった点が、変化していると感じていた。

また、患者満足度調査では、DPC の認知状況ならびに DPC 導入による影響の有無などもあわせて調査した。調査の結果、医師や看護師による医療サービス内容に対する満足度は総じて高く、特に患者の年代があがるほど満足度が高くなる傾向であった。

また、DPC 導入等の以前に入院経験のある患者のうち、8 割強の患者は DPC 導入後の医療内容や入院期間に変化がなかったと回答しており、DPC の導入による患者への影響はあまり大きくないことが明らかとなった。

(2) 研究体制

	氏名	所属・役職
主任研究者	熊本 一朗	鹿児島大学病院 副病院長
研究分担者	吉田 英機	昭和大学医学部泌尿器科学 教授
	信友 浩一	九州大学大学院医療システム学 教授
	酒巻 哲夫	群馬大学医療情報部 教授

(3) 研究目的

DPC 導入による医療効率化が臨床現場で進行するなかで、患者側からみて納得できる医療展開であったか、退院まで問題がなかったかを患者側の満足度の観点から調査する必要性が生じている。

また、納得できる質の高い医療が達成されたか、DPC 導入後の変化を医師または看護師など医療従事者の側の観点から調査する必要性が生じている。

こうしたことを背景に、本研究では DPC を導入している医療機関等の患者および職員を対象とするアンケート調査を実施することにより、患者側の患者満足度と医療従事者の医療の達成度を調査測定、評価分析し、DPC 導入の影響を評価することを目的とする。

(4) 研究方法

本調査では、DPCを導入している病院等において、職員および患者を対象とするアンケート調査を実施し、その結果を分析した。

調査対象施設は DPC 病院ならびに試行的適用病院、調査協力病院とし、102 施設で調査を行った。

調査対象者は、医療達成度調査については、対象施設に所属し、DPCに関連する診療科に属する医師および看護師を調査対象とした。また、患者満足度調査については、調査期間の間に退院を予定する患者を調査対象とした。

2. 調査の概要

(1) 調査方法

本調査では、DPCを導入している病院において、職員および患者を対象とするアンケート調査を実施し、その結果を分析した。

①調査対象施設

調査対象機関は、DPC病院、試行的適用病院、調査協力病院とした。

調査対象施設数は102施設で、そのうちDPC病院が24施設、試行的適用病院が62施設、調査協力病院が16施設である。また、設置主体別では、大学病院が23施設、国立病院が10施設、社会保険病院が25施設、公的病院が7施設、民間病院が37施設である。

表 I - 1 調査対象病院一覧

	大学病院	国立病院	社会保険病院	公的病院	民間病院	計
DPC病院	23施設	1施設	—	—	—	24施設
試行的適用病院	—	8施設	25施設	1施設	28施設	62施設
調査協力病院	—	1施設	—	6施設	9施設	16施設
計	23施設	10施設	25施設	7施設	37施設	102施設

②調査対象者

ア. 医療達成度調査

対象施設に所属し、DPCに関連する診療科に属する医師および看護師全員を調査対象とする全数調査を行った。

- ・配布数 39,365
- ・回収数 29,173
- ・回収率 74.1%

イ. 患者満足度調査

調査期間の間に退院を予定する患者を調査対象とし、標本数は各施設最大500人とした。

- ・配布数 35,968
- ・回収数 22,641
- ・回収率 62.9%

③調査内容

ア. 医療達成度調査

- ・ DPC に対する理解度
- ・ 医療の達成度に対する評価
- ・ DPC の導入の医療内容への影響

イ. 患者満足度調査

- ・ 医療内容への満足度
- ・ DPC に対する認知度
- ・ DPC の導入の医療内容への影響

(2) 調査データの分析

ア. 医療達成度調査

調査結果については、全体の傾向を分析するとともに、医師、看護師の別による分析を行った。また、医師および看護師のそれぞれについて、年代別、種別（DPC の導入状況）、設置主体別、地域別、診療科別による違いを分析した。さらに、DPC の理解度と医療達成度の関係などについて、質問間でのクロス分析を行った。

分析方法は χ 自乗検定を用いた。

分割表分析係数により相関の強さを判定するとともに（分割表分析係数が大きいほど相関が強い）、分割表分析係数が大きい項目については危険率 5% で検定した。（ $P < 0.05$ で有意。）

イ. 患者満足度調査

調査結果については、全体の傾向を分析するとともに、性別、年代別、種別（DPC の導入状況）、設置主体別、地域別による違いを分析した。また、退院後の予定と満足度の関係について、質問間でのクロス分析を行った。

分析方法は χ 自乗検定を用いた。

分割表分析係数により相関の強さを判定するとともに（分割表分析係数が大きいほど相関が強い）、分割表分析係数が大きい項目については危険率 5% で検定した。（ $P < 0.05$ で有意。）

3. 調査結果の概要および今後の活用

3-1. 調査結果の概要

(1) 医療達成度調査

医療達成度調査では、DPC についての理解度および DPC 導入による医療内容等への影響の有無を調査するとともに、医療の達成度を調査した。

調査の結果、DPC についての理解度は、診断群分類、包括の範囲ともに、理解している医師は半数程度であった。また、看護師においては 1 割程度であった。その中で、年代があがるほど DPC に対する理解度も高くなるという傾向が見られた。

また、約 2 割の職員が DPC 導入後に医療内容が変化していると回答しているが、DPC に対する理解度が高いほどその回答割合は高くなっており、DPC に対する理解が医療内容に影響を与えていることがうかがわれる。具体的には、入院期間の短縮、患者への説明の増加、クリティカルパスの利用の増加、コスト意識の高まりといった点に、変化を感じている。

一方、医療の達成度については、入院前、入院中、退院時の各段階における医療サービスの提供についてはおおむね高い評価となっている。特に、入院目的については大部分が達成できていると評価している。ここでも、年代があがるほど評価も高くなる傾向がみられた。反面、入院診療費用の事前説明は十分に行われていないという点も明らかとなった。

こうした中で、DPC に対する理解度と医療の達成度に対する評価の関係をみると、両者の間には明らかな相関がみられた。大部分の医療サービスにおいて、DPC に対する理解度が高い職員ほど医療の達成度に対する評価が高くなっており、DPC に対する理解が医療の達成度に好影響を与えていることが明らかとなった。

なお、DPC についての理解度、医療達成度ともに、年代や職制（医師と看護師）による回答傾向には大きな差が見られ、また、診療科別（内科系、外科系、その他）によって回答傾向に差がみられた。一方で、医療機関の地域別や種別（DPC の導入状況）、設置主体別では大きな差はみられなかった。

(2) 患者満足度調査

患者満足度調査では、退院時における医療内容等に対する満足度を調査するとともに、DPC の認知状況ならびに DPC 導入による影響の有無などを調査した。

調査の結果、医師や看護師による医療サービス内容に対する満足度は総じて高く、特に患者の年代があがるほど満足度が高くなる傾向にあることが明らかとなった。また、DPC の導入により入院医療費算定方法が変わったことを認識している患者は全体の約 3 分の 1 と少数であった。これらの点については、患者の属性による差はあまり見られなかった。

一方、DPC 導入等に伴う医療内容等の変化については、変化したと感じている患者は 2 割弱であり、多くの患者は医療内容に変化がなかったと回答していた。ただ、この点については、中高年を中心に変化を感じている患者が多く、また調査協力病院の患者が

変化を感じている割合が高い、という回答結果となっており、患者の年齢や医療機関の DPC の導入状況や設置主体によって、意識の違いがあることがわかった。

本調査の結果からは、DPC に対する患者の理解と認知を進めることが今後の課題として浮き彫りとなったが、患者の多くは DPC の導入後も医療内容には高い満足度を示しており、DPC の導入による医療サービスの低下は認められていないことが明らかとなった。

3-2. 研究により得られた成果の今後の活用・提供

DPC 導入による医療効率化が臨床現場では進行するなかで、患者側からみて納得できる医療展開であったか、退院まで問題がなかったかを患者側の満足度の観点から調査する必要性が生じている。また、納得できる質の高い医療が達成されたか、DPC 導入後の変化を医師または看護師など医療従事者の側の観点から調査する必要性が生じており、本研究事業を開始した。具体的には無記名のアンケート調査を実施し、患者側の患者満足度と医療従事者の医療の達成度を調査測定、評価分析を行い DPC 導入の影響を評価した。

この DPC 導入の影響評価のための調査研究により得られた医療達成度調査と患者満足度調査のそれぞれの結果は、中央社会保険医療協議会の基本問題小委員会の付託を受けた診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会において報告し、公表する予定である。

第2章 調査結果

1. 医療達成度調査

1-1. サンプル数および回答者の属性

(1) サンプル数

29,173 サンプル（配布数 39,365、回収率 74.1%）

(2) 回答者の属性

	医師		看護師	
	人数	構成比	人数	構成比
総数	6,855	100.0%	21,600	100.0%
年代	20歳未満	—	2	0.0%
	20歳代	1,020	12,237	56.7%
	30歳代	2,720	5,228	24.2%
	40歳代	1,987	2,573	11.9%
	50歳代	678	1,076	5.0%
	60歳代以上	118	22	0.1%
	無回答	332	462	2.1%
地域	北海道	454	1,654	7.7%
	東北	423	1,742	8.1%
	東京	972	3,385	15.7%
	関東	422	1,611	7.5%
	中部	1,234	3,529	16.3%
	関西	1,325	3,795	17.6%
	中国・四国	771	2,391	11.1%
	九州	1,254	3,493	16.2%
種別	DPC病院	3,808	8,490	39.3%
	試行的適用病院	2,526	10,390	48.1%
	調査協力病院	521	2,720	12.6%
設置主体	大学病院	3,784	8,432	39.0%
	国立病院	611	2,016	9.3%
	社会保険病院	777	3,182	14.7%
	公的病院	253	1,062	4.9%
	民間病院	1,430	6,908	32.0%

※718人は、職制について無回答

1-2. 調査結果

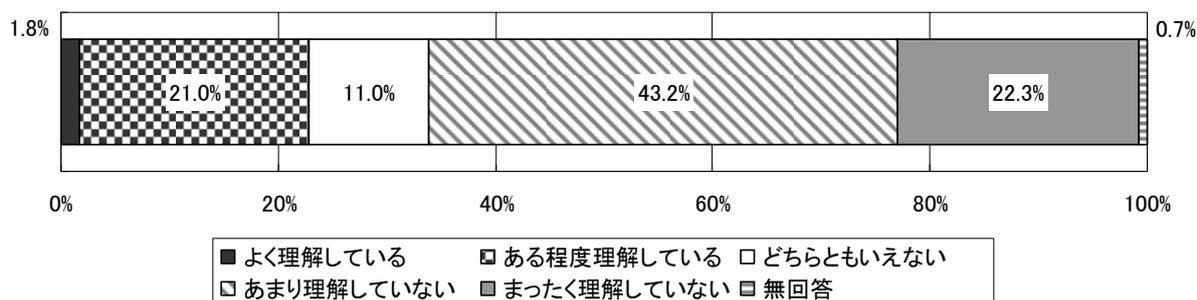
(1) DPCの診断群分類についての理解度

① 全体傾向

DPCの診断群分類については、「あまり理解していない」(43.2%)という回答割合が4割強を占める。「まったく理解していない」(22.3%)という回答割合も2割強あり、7割近くの職員がDPCの診断群分類について十分に理解していない。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「よく理解している」(6.0%)と「ある程度理解している」(47.3%)をあわせ、5割以上が理解していると回答しており、比較的高い理解度を示している。

一方で、看護師の場合は、「あまり理解していない」(48.3%)、「まったく理解していない」(27.3%)という回答で8割近くを占めており、DPCの診断群分類に対する理解度は低い。職制との関係では有意であり、医師と看護師の間でDPCの診断群分類に対しては理解度に大きな差がある。(分割表分析係数=0.3983、P値<0.01)



		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
全体		29,173 100.0%	513 1.8%	6,129 21.0%	3,216 11.0%	12,605 43.2%	6,494 22.3%	216 0.7%
職性別	医師	6,855 100.0%	414 6.0%	3,243 47.3%	799 11.7%	1,907 27.8%	478 7.0%	14 0.2%
	看護師	21,600 100.0%	87 0.4%	2,756 12.8%	2,340 10.8%	10,439 48.3%	5,902 27.3%	76 0.4%
	無回答	718 100.0%	12 1.7%	130 18.1%	77 10.7%	259 36.1%	114 15.9%	126 17.5%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代では「あまり理解していない」(40.2%)、「まったく理解していない」(13.7%)をあわせて、5割以上が理解していないと回答している。一方で、50歳代では「よく理解している」(14.5%)、「ある程度理解している」(55.5%)をあわせてほぼ7割が理解していると回答している。年代との関係では有意であり、年代が上がるほど理解度が高くなる。(分割表分析係数=0.3027、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、その他で「あまり理解していない」、「まったく理解していない」という回答割合が高く、DPCの診断群の理解度と診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	414 6.0%	3,243 47.3%	799 11.7%	1,907 27.8%	478 7.0%	14 0.2%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	15 1.5%	301 29.5%	153 15.0%	410 40.2%	140 13.7%	1 0.1%
	30歳代	2,720 100.0%	91 3.3%	1,209 44.4%	357 13.1%	846 31.1%	211 7.8%	6 0.2%
	40歳代	1,987 100.0%	156 7.9%	1,149 57.8%	186 9.4%	411 20.7%	81 4.1%	4 0.2%
	50歳代	678 100.0%	98 14.5%	376 55.5%	59 8.7%	124 18.3%	20 2.9%	1 0.1%
	60歳代以上	118 100.0%	30 25.4%	70 59.3%	4 3.4%	12 10.2%	1 0.8%	1 0.8%
	無回答	332 100.0%	24 7.2%	138 41.6%	40 12.0%	104 31.3%	25 7.5%	1 0.3%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	211 5.5%	1,709 44.9%	454 11.9%	1,094 28.7%	333 8.7%
試行的適用病院		2,526 100.0%	183 7.2%	1,291 51.1%	278 11.0%	652 25.8%	116 4.6%	6 0.2%
調査協力病院		521 100.0%	20 3.8%	243 46.6%	67 12.9%	161 30.9%	29 5.6%	1 0.2%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	209 5.5%	1,697 44.8%	453 12.0%	1,086 28.7%	332 8.8%	7 0.2%
	国立病院	611 100.0%	51 8.3%	296 48.4%	72 11.8%	160 26.2%	29 4.7%	3 0.5%
	社会保険病院	777 100.0%	66 8.5%	394 50.7%	87 11.2%	202 26.0%	27 3.5%	1 0.1%
	公的病院	253 100.0%	9 3.6%	127 50.2%	29 11.5%	78 30.8%	10 4.0%	0 0.0%
	民間病院	1,430 100.0%	79 5.5%	729 51.0%	158 11.0%	381 26.6%	80 5.6%	3 0.2%
地域別	北海道	454 100.0%	31 6.8%	215 47.4%	43 9.5%	125 27.5%	39 8.6%	1 0.2%
	東北	423 100.0%	36 8.5%	201 47.5%	54 12.8%	107 25.3%	24 5.7%	1 0.2%
	関東	972 100.0%	64 6.6%	453 46.6%	117 12.0%	277 28.5%	61 6.3%	0 0.0%
	東京	422 100.0%	20 4.7%	225 53.3%	44 10.4%	106 25.1%	26 6.2%	1 0.2%
	中部	1,234 100.0%	70 5.7%	551 44.7%	165 13.4%	342 27.7%	101 8.2%	5 0.4%
	関西	1,325 100.0%	83 6.3%	642 48.5%	142 10.7%	371 28.0%	83 6.3%	4 0.3%
	中国・四国	771 100.0%	40 5.2%	367 47.6%	89 11.5%	217 28.1%	57 7.4%	1 0.1%
	九州	1,254 100.0%	70 5.6%	589 47.0%	145 11.6%	362 28.9%	87 6.9%	1 0.1%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	188 6.3%	1,414 47.5%	370 12.4%	810 27.2%	193 6.5%	4 0.1%
	外科系	3,201 100.0%	202 6.3%	1,611 50.3%	345 10.8%	859 26.8%	178 5.6%	6 0.2%
	その他	583 100.0%	17 2.9%	176 30.2%	75 12.9%	208 35.7%	105 18.0%	2 0.3%
	無回答	92 100.0%	7 7.6%	42 45.7%	9 9.8%	30 32.6%	2 2.2%	2 2.2%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代で「あまり理解していない」(49.0%)、「まったく理解していない」(33.1%)をあわせ、8割以上が理解していないと回答しているように、若い年代の理解度は非常に低い。一方で、「ある程度理解している」という回答が40歳代で24.8%、50歳代で40.4%となっている。年代との関係では有意であり、年代が上がるほど理解度が高くなる。(分割表分析係数=0.2895、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	87 0.4%	2,756 12.8%	2,340 10.8%	10,439 48.3%	5,902 27.3%	76 0.4%
年代別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	10 0.1%	912 7.5%	1,219 10.0%	6,002 49.0%	4,053 33.1%	41 0.3%
	30歳代	5,228 100.0%	16 0.3%	696 13.3%	625 12.0%	2,612 50.0%	1,265 24.2%	14 0.3%
	40歳代	2,573 100.0%	32 1.2%	639 24.8%	328 12.7%	1,193 46.4%	368 14.3%	13 0.5%
	50歳代	1,076 100.0%	25 2.3%	435 40.4%	114 10.6%	394 36.6%	102 9.5%	6 0.6%
	60歳代以上	22 100.0%	1 4.5%	6 27.3%	3 13.6%	8 36.4%	3 13.6%	1 4.5%
	無回答	462 100.0%	3 0.6%	68 14.7%	51 11.0%	229 49.6%	110 23.8%	1 0.2%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	30 0.4%	847 10.0%	770 9.1%	3,934 46.3%	2,880 33.9%	29 0.3%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	50 0.5%	1,533 14.8%	1,222 11.8%	5,290 50.9%	2,265 21.8%	30 0.3%
	調査協力病院	2,720 100.0%	7 0.3%	376 13.8%	348 12.8%	1,215 44.7%	757 27.8%	17 0.6%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	30 0.4%	833 9.9%	763 9.0%	3,904 46.3%	2,873 34.1%	29 0.3%
	国立病院	2,016 100.0%	4 0.2%	282 14.0%	189 9.4%	1,046 51.9%	487 24.2%	8 0.4%
	社会保険病院	3,182 100.0%	17 0.5%	462 14.5%	424 13.3%	1,653 51.9%	622 19.5%	4 0.1%
	公的病院	1,062 100.0%	2 0.2%	180 16.9%	167 15.7%	478 45.0%	225 21.2%	10 0.9%
	民間病院	6,908 100.0%	34 0.5%	999 14.5%	797 11.5%	3,358 48.6%	1,695 24.5%	25 0.4%
地域別	北海道	1,654 100.0%	11 0.7%	213 12.9%	173 10.5%	788 47.6%	464 28.1%	5 0.3%
	東北	1,742 100.0%	7 0.4%	245 14.1%	201 11.5%	897 51.5%	384 22.0%	8 0.5%
	関東	3,385 100.0%	15 0.4%	397 11.7%	388 11.5%	1,618 47.8%	952 28.1%	15 0.4%
	東京	1,611 100.0%	5 0.3%	227 14.1%	177 11.0%	726 45.1%	473 29.4%	3 0.2%
	中部	3,529 100.0%	14 0.4%	404 11.4%	362 10.3%	1,729 49.0%	1,009 28.6%	11 0.3%
	関西	3,795 100.0%	17 0.4%	494 13.0%	427 11.3%	1,715 45.2%	1,121 29.5%	21 0.6%
	中国・四国	2,391 100.0%	5 0.2%	281 11.8%	216 9.0%	1,157 48.4%	729 30.5%	3 0.1%
	九州	3,493 100.0%	13 0.4%	495 14.2%	396 11.3%	1,809 51.8%	770 22.0%	10 0.3%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	34 0.5%	913 12.2%	788 10.6%	3,593 48.2%	2,109 28.3%	20 0.3%
	外科系	8,978 100.0%	33 0.4%	1,183 13.2%	1,001 11.1%	4,354 48.5%	2,376 26.5%	31 0.3%
	その他	4,497 100.0%	16 0.4%	548 12.2%	462 10.3%	2,178 48.4%	1,272 28.3%	21 0.5%
	無回答	668 100.0%	4 0.6%	112 16.8%	89 13.3%	314 47.0%	145 21.7%	4 0.6%

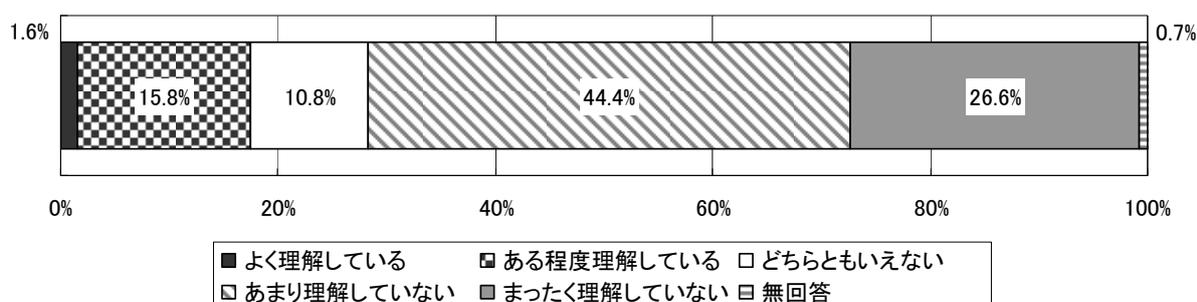
(2) DPCの包括の範囲についての理解度

① 全体傾向

DPCの包括の範囲については、「あまり理解していない」(44.4%)という回答が4割強を占める。「まったく理解していない」(26.6%)という回答をあわせると、7割を超える職員が十分には理解していないという結果となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よく理解している」(5.6%)と「ある程度理解している」(40.4%)をあわせ、5割近くが理解していると回答している。

一方で、看護師の場合は、「あまり理解していない」(48.6%)、「まったく理解していない」(32.5%)という回答割合が8割強を占めており、DPCの包括の範囲に対する理解度は低くなっている。職制との関係では有意であり、医師と看護師の間で理解度に大きな差が見られる。(分割表分析係数=0.4118、P値<0.01)



		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
全体		29,173	456	4,622	3,159	12,955	7,772	209
		100.0%	1.6%	15.8%	10.8%	44.4%	26.6%	0.7%
職性別	医師	6,855	384	2,766	897	2,186	613	9
		100.0%	5.6%	40.4%	13.1%	31.9%	8.9%	0.1%
	看護師	21,600	59	1,753	2,189	10,504	7,019	76
	100.0%	0.3%	8.1%	10.1%	48.6%	32.5%	0.4%	
	無回答	718	13	103	73	265	140	124
	100.0%	1.8%	14.3%	10.2%	36.9%	19.5%	17.3%	

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代では「あまり理解していない」(49.6%)、「まったく理解していない」(18.6%)をあわせて、7割近くが理解していないと回答している。一方で、40歳代以上では5割以上が「ある程度理解している」と回答している。年代との関係では有意であり、年代が上がるほどDPCの包括の範囲についての理解度が高くなる。(分割表分析係数=0.3614、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、試行的適用病院で「ある程度理解している」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、社会保険病院で「ある程度理解している」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、その他で「まったく理解していない」という回答割合が高く、DPCの診断群の理解度と診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	384 5.6%	2,766 40.4%	897 13.1%	2,186 31.9%	613 8.9%	9 0.1%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	16 1.6%	167 16.4%	140 13.7%	506 49.6%	190 18.6%	1 0.1%
	30歳代	2,720 100.0%	87 3.2%	954 35.1%	413 15.2%	976 35.9%	287 10.6%	3 0.1%
	40歳代	1,987 100.0%	136 6.8%	1,112 56.0%	221 11.1%	436 21.9%	80 4.0%	2 0.1%
	50歳代	678 100.0%	91 13.4%	362 53.4%	73 10.8%	133 19.6%	18 2.7%	1 0.1%
	60歳代以上	118 100.0%	29 24.6%	60 50.8%	5 4.2%	21 17.8%	2 1.7%	1 0.8%
	無回答	332 100.0%	25 7.5%	111 33.4%	45 13.6%	114 34.3%	36 10.8%	1 0.3%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	187 4.9%	1,452 38.1%	506 13.3%	1,247 32.7%	411 10.8%
試行的適用病院		2,526 100.0%	181 7.2%	1,147 45.4%	308 12.2%	731 28.9%	155 6.1%	4 0.2%
調査協力病院		521 100.0%	16 3.1%	167 32.1%	83 15.9%	208 39.9%	47 9.0%	0 0.0%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	185 4.9%	1,441 38.1%	503 13.3%	1,241 32.8%	409 10.8%	5 0.1%
	国立病院	611 100.0%	47 7.7%	242 39.6%	81 13.3%	197 32.2%	42 6.9%	2 0.3%
	社会保険病院	777 100.0%	64 8.2%	365 47.0%	93 12.0%	223 28.7%	31 4.0%	1 0.1%
	公的病院	253 100.0%	11 4.3%	95 37.5%	43 17.0%	90 35.6%	14 5.5%	0 0.0%
	民間病院	1,430 100.0%	77 5.4%	623 43.6%	177 12.4%	435 30.4%	117 8.2%	1 0.1%
地域別	北海道	454 100.0%	40 8.8%	177 39.0%	51 11.2%	138 30.4%	48 10.6%	0 0.0%
	東北	423 100.0%	33 7.8%	167 39.5%	56 13.2%	131 31.0%	36 8.5%	0 0.0%
	関東	972 100.0%	60 6.2%	382 39.3%	120 12.3%	340 35.0%	70 7.2%	0 0.0%
	東京	422 100.0%	27 6.4%	177 41.9%	48 11.4%	133 31.5%	36 8.5%	1 0.2%
	中部	1,234 100.0%	54 4.4%	461 37.4%	181 14.7%	402 32.6%	135 10.9%	1 0.1%
	関西	1,325 100.0%	71 5.4%	560 42.3%	174 13.1%	395 29.8%	119 9.0%	6 0.5%
	中国・四国	771 100.0%	40 5.2%	318 41.2%	99 12.8%	252 32.7%	62 8.0%	0 0.0%
	九州	1,254 100.0%	59 4.7%	524 41.8%	168 13.4%	395 31.5%	107 8.5%	1 0.1%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	154 5.2%	1,228 41.2%	382 12.8%	974 32.7%	237 8.0%	4 0.1%
	外科系	3,201 100.0%	208 6.5%	1,361 42.5%	430 13.4%	972 30.4%	228 7.1%	2 0.1%
	その他	583 100.0%	15 2.6%	141 24.2%	77 13.2%	211 36.2%	138 23.7%	1 0.2%
	無回答	92 100.0%	7 7.6%	36 39.1%	8 8.7%	29 31.5%	10 10.9%	2 2.2%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代では「あまり理解していない」(48.3%)、「まったく理解していない」(39.3%)をあわせて、9割近くが理解していないと回答しているように、若い年代の理解度は非常に低い。一方で、「ある程度理解している」という回答が40歳代で17.8%、50歳代で29.7%となっている。年代との関係では有意であり、年代が上がるほど包括の範囲についての理解度が高くなる。(分割表分析係数=0.2974、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	59 0.3%	1,753 8.1%	2,189 10.1%	10,504 48.6%	7,019 32.5%	76 0.4%
年代別	20歳未満	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	7 0.1%	473 3.9%	1,007 8.2%	5,913 48.3%	4,807 39.3%	30 0.2%
	30歳代	5,228 100.0%	10 0.2%	447 8.6%	613 11.7%	2,615 50.0%	1,527 29.2%	16 0.3%
	40歳代	2,573 100.0%	22 0.9%	457 17.8%	367 14.3%	1,274 49.5%	439 17.1%	14 0.5%
	50歳代	1,076 100.0%	14 1.3%	320 29.7%	150 13.9%	465 43.2%	115 10.7%	12 1.1%
	60歳代以上	22 100.0%	2 9.1%	5 22.7%	3 13.6%	8 36.4%	3 13.6%	1 4.5%
	無回答	462 100.0%	4 0.9%	51 11.0%	49 10.6%	228 49.4%	127 27.5%	3 0.6%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	23 0.3%	616 7.3%	754 8.9%	3,936 46.4%	3,135 36.9%	26 0.3%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	32 0.3%	945 9.1%	1,113 10.7%	5,339 51.4%	2,932 28.2%	29 0.3%
	調査協力病院	2,720 100.0%	4 0.1%	192 7.1%	322 11.8%	1,229 45.2%	952 35.0%	21 0.8%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	22 0.3%	608 7.2%	747 8.9%	3,906 46.3%	3,123 37.0%	26 0.3%
	国立病院	2,016 100.0%	2 0.1%	173 8.6%	182 9.0%	1,014 50.3%	635 31.5%	10 0.5%
	社会保険病院	3,182 100.0%	10 0.3%	305 9.6%	372 11.7%	1,672 52.5%	816 25.6%	7 0.2%
	公的病院	1,062 100.0%	1 0.1%	107 10.1%	150 14.1%	496 46.7%	297 28.0%	11 1.0%
	民間病院	6,908 100.0%	24 0.3%	560 8.1%	738 10.7%	3,416 49.4%	2,148 31.1%	22 0.3%
地域別	北海道	1,654 100.0%	11 0.7%	147 8.9%	146 8.8%	790 47.8%	558 33.7%	2 0.1%
	東北	1,742 100.0%	3 0.2%	177 10.2%	197 11.3%	886 50.9%	471 27.0%	8 0.5%
	関東	3,385 100.0%	10 0.3%	236 7.0%	362 10.7%	1,633 48.2%	1,126 33.3%	18 0.5%
	東京	1,611 100.0%	5 0.3%	133 8.3%	184 11.4%	741 46.0%	544 33.8%	4 0.2%
	中部	3,529 100.0%	4 0.1%	231 6.5%	323 9.2%	1,738 49.2%	1,223 34.7%	10 0.3%
	関西	3,795 100.0%	17 0.4%	302 8.0%	410 10.8%	1,763 46.5%	1,286 33.9%	17 0.4%
	中国・四国	2,391 100.0%	2 0.1%	196 8.2%	185 7.7%	1,117 46.7%	886 37.1%	5 0.2%
	九州	3,493 100.0%	7 0.2%	331 9.5%	382 10.9%	1,836 52.6%	925 26.5%	12 0.3%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	15 0.2%	556 7.5%	736 9.9%	3,604 48.3%	2,521 33.8%	25 0.3%
	外科系	8,978 100.0%	29 0.3%	770 8.6%	934 10.4%	4,401 49.0%	2,816 31.4%	28 0.3%
	その他	4,497 100.0%	11 0.2%	352 7.8%	446 9.9%	2,163 48.1%	1,507 33.5%	18 0.4%
	無回答	668 100.0%	4 0.6%	75 11.2%	73 10.9%	336 50.3%	175 26.2%	5 0.7%

④ 診断群分類の理解度との関連

DPC の診断群分類についての理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類を理解している職員ほど、DPC の包括の範囲を理解している。診断群分類の理解度と包括の範囲の理解度の関係は有意であり、非常に強い相関が見られる。(分割表分析係数=0.7829、P 値<0.01)

		サンプル数	よく理解している	ある程度理解している	どちらともいえない	あまり理解していない	まったく理解していない	無回答
全体		29,173 100.0%	456 1.6%	4,622 15.8%	3,159 10.8%	12,955 44.4%	7,772 26.6%	209 0.7%
DPC の 理 解 度 の 診 断 群 分 類 (質 問 1 に つ い て	よく理解している	513 1.8%	325 63.4%	159 31.0%	6 1.2%	16 3.1%	7 1.4%	0 0.0%
	ある程度理解している	6,129 21.0%	117 1.9%	3,563 58.1%	894 14.6%	1,368 22.3%	178 2.9%	9 0.1%
	どちらともいえない	3,216 11.0%	0 0.0%	321 10.0%	1,668 51.9%	1,085 33.7%	135 4.2%	7 0.2%
	あまり理解していない	12,605 43.2%	12 0.1%	496 3.9%	514 4.1%	9,829 78.0%	1,732 13.7%	22 0.2%
	まったく理解していない	6,494 22.3%	1 0.0%	77 1.2%	70 1.1%	624 9.6%	5,711 87.9%	11 0.2%
	無回答	216 0.7%	1 0.5%	6 2.8%	7 3.2%	33 15.3%	9 4.2%	160 74.1%

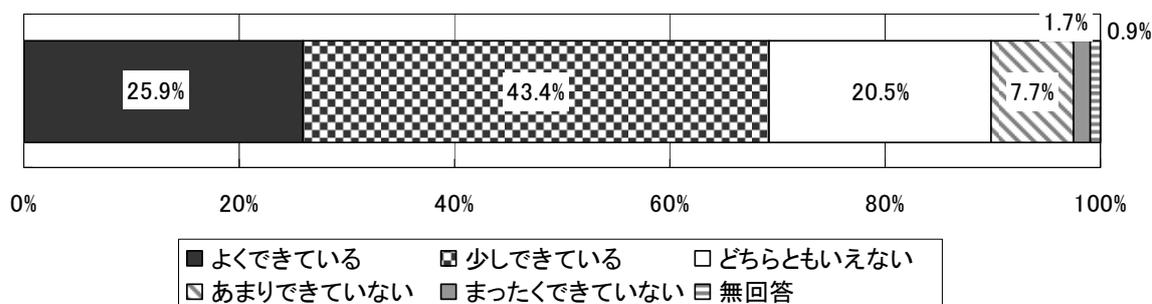
(3) 入院時の患者への説明状況

① 全体傾向

入院時の患者への説明については、「よくできている」(25.9%)、「少しできている」(43.4%)をあわせると7割弱となっており、入院時の患者への説明に対しては高い評価となっている。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「よくできている」(57.8%)、「少しできている」(30.4%)をあわせ、9割近くができていますと回答しており、非常に高い評価となっている。

一方で、看護師の場合は、「よくできている」(16.0%)、「少しできている」(47.8%)という回答は6割強にとどまり、医師と比べ低い評価となっている。職制との関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.3839、P値<0.01)



		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173	7,544	12,666	5,992	2,233	485	253
		100.0%	25.9%	43.4%	20.5%	7.7%	1.7%	0.9%
職性別	医師	6,855	3,961	2,081	579	148	59	27
		100.0%	57.8%	30.4%	8.4%	2.2%	0.9%	0.4%
	看護師	21,600	3,448	10,322	5,283	2,041	413	93
		100.0%	16.0%	47.8%	24.5%	9.4%	1.9%	0.4%
	無回答	718	135	263	130	44	13	133
		100.0%	18.8%	36.6%	18.1%	6.1%	1.8%	18.5%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代では「少しできている」、「どちらとも言えない」という回答が医師全体に比べ多いのに対し、40歳代では66.6%、50歳代では69.2%、60歳代以上では74.6%が「よくできている」と回答しており、年代が上がるほど評価が高くなる傾向が見られる。年代との関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2294、P値<0.01)

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系では「よくできている」という回答割合が高いのに対し、その他では「どちらともいえない」という回答割合が高くなっており、診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	3,961 57.8%	2,081 30.4%	579 8.4%	148 2.2%	59 0.9%	27 0.4%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	351 34.4%	484 47.5%	138 13.5%	34 3.3%	11 1.1%	2 0.2%
	30歳代	2,720 100.0%	1,546 56.8%	853 31.4%	234 8.6%	49 1.8%	28 1.0%	10 0.4%
	40歳代	1,987 100.0%	1,324 66.6%	472 23.8%	125 6.3%	47 2.4%	12 0.6%	7 0.4%
	50歳代	678 100.0%	469 69.2%	156 23.0%	39 5.8%	6 0.9%	5 0.7%	3 0.4%
	60歳代以上	118 100.0%	88 74.6%	19 16.1%	5 4.2%	2 1.7%	0 0.0%	4 3.4%
	無回答	332 100.0%	183 55.1%	97 29.2%	38 11.4%	10 3.0%	3 0.9%	1 0.3%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	2,215 58.2%	1,090 28.6%	354 9.3%	91 2.4%	46 1.2%
試行的適用病院		2,526 100.0%	1,459 57.8%	814 32.2%	184 7.3%	45 1.8%	12 0.5%	12 0.5%
調査協力病院		521 100.0%	287 55.1%	177 34.0%	41 7.9%	12 2.3%	1 0.2%	3 0.6%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	2,196 58.0%	1,087 28.7%	353 9.3%	91 2.4%	46 1.2%	11 0.3%
	国立病院	611 100.0%	359 58.8%	198 32.4%	42 6.9%	6 1.0%	1 0.2%	5 0.8%
	社会保険病院	777 100.0%	451 58.0%	241 31.0%	63 8.1%	16 2.1%	3 0.4%	3 0.4%
	公的病院	253 100.0%	146 57.7%	85 33.6%	13 5.1%	7 2.8%	0 0.0%	2 0.8%
	民間病院	1,430 100.0%	809 56.6%	470 32.9%	108 7.6%	28 2.0%	9 0.6%	6 0.4%
地域別	北海道	454 100.0%	254 55.9%	135 29.7%	45 9.9%	13 2.9%	6 1.3%	1 0.2%
	東北	423 100.0%	209 49.4%	151 35.7%	49 11.6%	8 1.9%	4 0.9%	2 0.5%
	関東	972 100.0%	563 57.9%	306 31.5%	70 7.2%	24 2.5%	5 0.5%	4 0.4%
	東京	422 100.0%	232 55.0%	123 29.1%	48 11.4%	13 3.1%	4 0.9%	2 0.5%
	中部	1,234 100.0%	736 59.6%	339 27.5%	109 8.8%	32 2.6%	13 1.1%	5 0.4%
	関西	1,325 100.0%	783 59.1%	404 30.5%	104 7.8%	21 1.6%	7 0.5%	6 0.5%
	中国・四国	771 100.0%	447 58.0%	240 31.1%	58 7.5%	14 1.8%	10 1.3%	2 0.3%
	九州	1,254 100.0%	737 58.8%	383 30.5%	96 7.7%	23 1.8%	10 0.8%	5 0.4%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	1,649 55.4%	987 33.1%	252 8.5%	57 1.9%	26 0.9%	8 0.3%
	外科系	3,201 100.0%	2,072 64.7%	845 26.4%	206 6.4%	55 1.7%	17 0.5%	6 0.2%
	その他	583 100.0%	191 32.8%	226 38.8%	107 18.4%	32 5.5%	16 2.7%	11 1.9%
	無回答	92 100.0%	49 53.3%	23 25.0%	14 15.2%	4 4.3%	0 0.0%	2 2.2%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、20歳代や30歳代では「どちらともいえない」という回答割合が高いのに対し、40歳代、50歳代では「よくできている」という回答割合が高くなっており、年代が上がるほど評価が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答に傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	3,448 16.0%	10,322 47.8%	5,283 24.5%	2,041 9.4%	413 1.9%	93 0.4%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	1,414 11.6%	5,989 48.9%	3,295 26.9%	1,244 10.2%	268 2.2%	27 0.2%
	30歳代	5,228 100.0%	984 18.8%	2,454 46.9%	1,220 23.3%	463 8.9%	87 1.7%	20 0.4%
	40歳代	2,573 100.0%	633 24.6%	1,185 46.1%	485 18.8%	213 8.3%	33 1.3%	24 0.9%
	50歳代	1,076 100.0%	339 31.5%	465 43.2%	162 15.1%	72 6.7%	18 1.7%	20 1.9%
	60歳代以上	22 100.0%	7 31.8%	9 40.9%	4 18.2%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	462 100.0%	70 15.2%	220 47.6%	117 25.3%	47 10.2%	6 1.3%	2 0.4%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	1,360 16.0%	3,966 46.7%	2,151 25.3%	822 9.7%	162 1.9%	29 0.3%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	1,725 16.6%	5,003 48.2%	2,462 23.7%	945 9.1%	198 1.9%	57 0.5%
	調査協力病院	2,720 100.0%	363 13.3%	1,353 49.7%	670 24.6%	274 10.1%	53 1.9%	7 0.3%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	1,327 15.7%	3,954 46.9%	2,139 25.4%	822 9.7%	161 1.9%	29 0.3%
	国立病院	2,016 100.0%	372 18.5%	990 49.1%	423 21.0%	187 9.3%	37 1.8%	7 0.3%
	社会保険病院	3,182 100.0%	497 15.6%	1,577 49.6%	798 25.1%	253 8.0%	47 1.5%	10 0.3%
	公的病院	1,062 100.0%	212 20.0%	518 48.8%	217 20.4%	96 9.0%	16 1.5%	3 0.3%
	民間病院	6,908 100.0%	1,040 15.1%	3,283 47.5%	1,706 24.7%	683 9.9%	152 2.2%	44 0.6%
地域別	北海道	1,654 100.0%	290 17.5%	787 47.6%	383 23.2%	154 9.3%	33 2.0%	7 0.4%
	東北	1,742 100.0%	315 18.1%	826 47.4%	400 23.0%	143 8.2%	32 1.8%	26 1.5%
	関東	3,385 100.0%	444 13.1%	1,544 45.6%	977 28.9%	336 9.9%	71 2.1%	13 0.4%
	東京	1,611 100.0%	248 15.4%	733 45.5%	450 27.9%	145 9.0%	32 2.0%	3 0.2%
	中部	3,529 100.0%	516 14.6%	1,773 50.2%	836 23.7%	324 9.2%	71 2.0%	9 0.3%
	関西	3,795 100.0%	664 17.5%	1,785 47.0%	937 24.7%	334 8.8%	61 1.6%	14 0.4%
	中国・四国	2,391 100.0%	402 16.8%	1,137 47.6%	533 22.3%	253 10.6%	56 2.3%	10 0.4%
	九州	3,493 100.0%	569 16.3%	1,737 49.7%	767 22.0%	352 10.1%	57 1.6%	11 0.3%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	1,066 14.3%	3,680 49.3%	1,841 24.7%	719 9.6%	122 1.6%	29 0.4%
	外科系	8,978 100.0%	1,519 16.9%	4,332 48.3%	2,123 23.6%	825 9.2%	157 1.7%	22 0.2%
	その他	4,497 100.0%	773 17.2%	2,015 44.8%	1,147 25.5%	414 9.2%	110 2.4%	38 0.8%
	無回答	668 100.0%	90 13.5%	295 44.2%	172 25.7%	83 12.4%	24 3.6%	4 0.6%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲の理解度が高い職員ほど、入院時の患者への説明が「よくできている」という回答割合が高くなっている。DPC の理解度と入院時の説明に対する評価は有意であり、強い相関が見られる。(質問 1 とのクロス分析：分割表分析係数=0.3290、P 値<0.01、質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.3270、P 値<0.01)

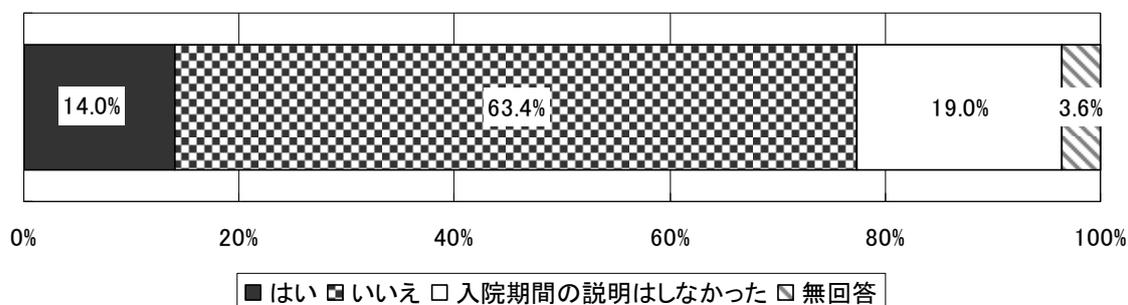
		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173 100.0%	7,544 25.9%	12,666 43.4%	5,992 20.5%	2,233 7.7%	485 1.7%	253 0.9%
DPCの理解度診断群分類(質問1)について	よく理解している	513 100.0%	389 75.8%	90 17.5%	20 3.9%	13 2.5%	0 0.0%	1 0.2%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	2,919 47.6%	2,323 37.9%	625 10.2%	212 3.5%	26 0.4%	24 0.4%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	706 22.0%	1,532 47.6%	813 25.3%	137 4.3%	15 0.5%	13 0.4%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	2,485 19.7%	5,864 46.5%	2,941 23.3%	1,118 8.9%	155 1.2%	42 0.3%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	1,024 15.8%	2,820 43.4%	1,578 24.3%	749 11.5%	287 4.4%	36 0.6%
	無回答	216 100.0%	21 9.7%	37 17.1%	15 6.9%	4 1.9%	2 0.9%	137 63.4%
	DPCの理解度包括の範囲(質問2)について	よく理解している	456 100.0%	362 79.4%	70 15.4%	15 3.3%	8 1.8%	0 0.0%
ある程度理解している	4,622 100.0%	2,352 50.9%	1,694 36.7%	405 8.8%	139 3.0%	12 0.3%	20 0.4%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	816 25.8%	1,426 45.1%	782 24.8%	110 3.5%	12 0.4%	13 0.4%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	2,768 21.4%	6,031 46.6%	2,891 22.3%	1,084 8.4%	134 1.0%	47 0.4%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	1,226 15.8%	3,419 44.0%	1,879 24.2%	888 11.4%	326 4.2%	34 0.4%	
無回答	209 100.0%	20 9.6%	26 12.4%	20 9.6%	4 1.9%	1 0.5%	138 66.0%	

(4) 診断群分類ごとの平均在院日数の利用状況

① 全体傾向

入院時における診断群分類ごとの平均在院日数の利用状況については、「はい（利用している）」（14.0%）、「いいえ（利用していない）」（63.4%）となっており、利用割合は非常に低い。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は、「いいえ（利用していない）」という回答割合が78.8%と非常に高く、説明はするが、平均在院日数を利用しないという傾向にある。一方で、看護師の場合は、「入院期間の説明はしなかった」という回答割合が23.4%と高い。職制との関係は有意であり、相関が見られる。（分割表分析係数=0.2043、P値<0.01）



		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明はしなかった	無回答
全体		29,173 100.0%	4,076 14.0%	18,503 63.4%	5,531 19.0%	1,063 3.6%
職性別	医師	6,855 100.0%	943 13.8%	5,402 78.8%	369 5.4%	141 2.1%
	看護師	21,600 100.0%	3,034 14.0%	12,734 59.0%	5,062 23.4%	770 3.6%
	無回答	718 100.0%	99 13.8%	367 51.1%	100 13.9%	152 21.2%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別で見ると、「はい（利用している）」という回答は 60 歳代以上で 27.1%、50 歳代で 20.6%となっているように、年代が上がるほど平均在院日数を利用する割合が高くなる傾向が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別で見ると、社会保険病院で「はい（利用している）」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別で見ると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別で見ると、「はい（利用している）」という回答割合は、外科系の方が内科系やその他に比べて高く、平均入院日数の利用がやや多い。

		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明はしなかった	無回答
医師全体		6,855 100.0%	943 13.8%	5,402 78.8%	369 5.4%	141 2.1%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	97 9.5%	860 84.3%	49 4.8%	14 1.4%
	30歳代	2,720 100.0%	338 12.4%	2,193 80.6%	147 5.4%	42 1.5%
	40歳代	1,987 100.0%	287 14.4%	1,552 78.1%	104 5.2%	44 2.2%
	50歳代	678 100.0%	140 20.6%	483 71.2%	36 5.3%	19 2.8%
	60歳代以上	118 100.0%	32 27.1%	69 58.5%	10 8.5%	7 5.9%
	無回答	332 100.0%	49 14.8%	245 73.8%	23 6.9%	15 4.5%
種別	DPC病院	3,808 100.0%	486 12.8%	3,019 79.3%	224 5.9%	79 2.1%
	試行的適用病院	2,526 100.0%	395 15.6%	1,961 77.6%	119 4.7%	51 2.0%
	調査協力病院	521 100.0%	62 11.9%	422 81.0%	26 5.0%	11 2.1%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	484 12.8%	3,001 79.3%	223 5.9%	76 2.0%
	国立病院	611 100.0%	91 14.9%	482 78.9%	26 4.3%	12 2.0%
	社会保険病院	777 100.0%	123 15.8%	602 77.5%	37 4.8%	15 1.9%
	公的病院	253 100.0%	35 13.8%	207 81.8%	7 2.8%	4 1.6%
	民間病院	1,452 100.0%	210 14.5%	1,110 76.4%	76 5.2%	34 2.3%
地域別	北海道	454 100.0%	56 12.3%	362 79.7%	26 5.7%	10 2.2%
	東北	423 100.0%	63 14.9%	325 76.8%	28 6.6%	7 1.7%
	関東	972 100.0%	112 11.5%	781 80.3%	57 5.9%	22 2.3%
	東京	422 100.0%	49 11.6%	331 78.4%	26 6.2%	16 3.8%
	中部	1,234 100.0%	183 14.8%	962 78.0%	62 5.0%	27 2.2%
	関西	1,325 100.0%	178 13.4%	1,054 79.5%	74 5.6%	19 1.4%
	中国・四国	771 100.0%	91 11.8%	639 82.9%	32 4.2%	9 1.2%
	九州	1,254 100.0%	211 16.8%	948 75.6%	64 5.1%	31 2.5%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	345 11.6%	2,434 81.7%	155 5.2%	45 1.5%
	外科系	3,201 100.0%	531 16.6%	2,455 76.7%	160 5.0%	55 1.7%
	その他	583 100.0%	52 8.9%	444 76.2%	49 8.4%	38 6.5%
	無回答	92 100.0%	15 16.3%	69 75.0%	5 5.4%	3 3.3%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、50歳代で「はい（利用している）」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、試行的適用病院で「はい（利用している）」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、社会保険病院で「はい（利用している）」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、「はい（利用している）」という回答割合は、内科系では外科系やその他に比べてやや低く、平均入院日数の利用がやや少ない。

		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明はしなかった	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	3,034 14.0%	12,734 59.0%	5,062 23.4%	770 3.6%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
	20歳代	12,237 100.0%	1,534 12.5%	7,150 58.4%	3,253 26.6%	300 2.5%
	30歳代	5,228 100.0%	782 15.0%	3,179 60.8%	1,081 20.7%	186 3.6%
	40歳代	2,573 100.0%	387 15.0%	1,605 62.4%	449 17.5%	132 5.1%
	50歳代	1,076 100.0%	250 23.2%	533 49.5%	184 17.1%	109 10.1%
	60歳代以上	22 100.0%	6 27.3%	8 36.4%	5 22.7%	3 13.6%
	無回答	462 100.0%	74 16.0%	259 56.1%	90 19.5%	39 8.4%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	924 10.9%	5,133 60.5%	2,140 25.2%	293 3.5%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	1,738 16.7%	5,959 57.4%	2,338 22.5%	355 3.4%
	調査協力病院	2,720 100.0%	372 13.7%	1,642 60.4%	584 21.5%	122 4.5%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	918 10.9%	5,087 60.3%	2,135 25.3%	292 3.5%
	国立病院	2,016 100.0%	258 12.8%	1,206 59.8%	470 23.3%	82 4.1%
	社会保険病院	3,182 100.0%	512 16.1%	1,888 59.3%	692 21.7%	90 2.8%
	公的病院	1,062 100.0%	188 17.7%	611 57.5%	222 20.9%	41 3.9%
	民間病院	6,908 100.0%	1,158 16.8%	3,942 57.1%	1,543 22.3%	265 3.8%
地域別	北海道	1,654 100.0%	262 15.8%	1,002 60.6%	345 20.9%	45 2.7%
	東北	1,742 100.0%	245 14.1%	998 57.3%	400 23.0%	99 5.7%
	関東	3,385 100.0%	418 12.3%	1,925 56.9%	913 27.0%	129 3.8%
	東京	1,611 100.0%	230 14.3%	932 57.9%	418 25.9%	31 1.9%
	中部	3,529 100.0%	413 11.7%	2,162 61.3%	824 23.3%	130 3.7%
	関西	3,795 100.0%	565 14.9%	2,264 59.7%	853 22.5%	113 3.0%
	中国・四国	2,391 100.0%	340 14.2%	1,400 58.6%	551 23.0%	100 4.2%
	九州	3,493 100.0%	561 16.1%	2,051 58.7%	758 21.7%	123 3.5%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	789 10.6%	4,584 61.5%	1,819 24.4%	265 3.6%
	外科系	8,978 100.0%	1,493 16.6%	5,180 57.7%	2,053 22.9%	252 2.8%
	その他	4,497 100.0%	632 14.1%	2,603 57.9%	1,058 23.5%	204 4.5%
	無回答	668 100.0%	120 18.0%	367 54.9%	132 19.8%	49 7.3%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群や DPC の包括範囲について理解している職員ほど、「はい (利用している)」という回答割合が高くなっており、DPC の包括の範囲に対する理解度と平均在院日数の利用との間には弱い相関が見られる。

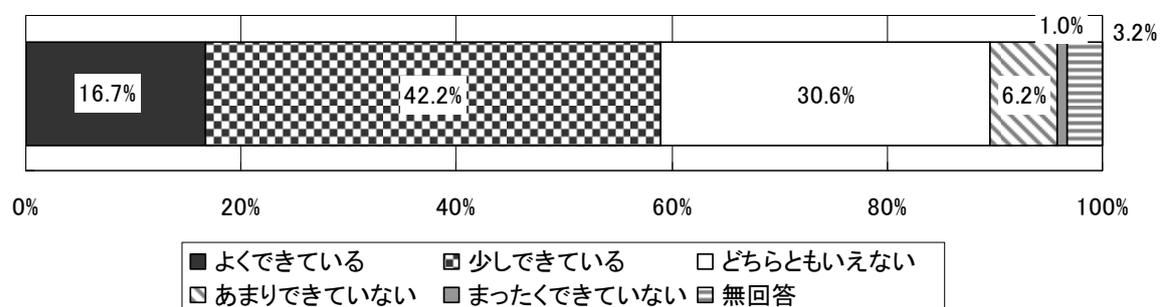
		サンプル数	はい	いいえ	入院期間の説明はしなかった	無回答
全体		29,173 100.0%	4,076 14.0%	18,503 63.4%	5,531 19.0%	1,063 3.6%
DPCの理解度診断群(質問1)について	よく理解している	513 100.0%	175 34.1%	286 55.8%	41 8.0%	11 2.1%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	1,299 21.2%	4,027 65.7%	653 10.7%	150 2.4%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	509 15.8%	1,980 61.6%	624 19.4%	103 3.2%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	1,553 12.3%	8,063 64.0%	2,575 20.4%	414 3.3%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	531 8.2%	4,101 63.2%	1,621 25.0%	241 3.7%
	無回答	216 100.0%	9 4.2%	46 21.3%	17 7.9%	144 66.7%
DPCの理解度包括(質問2)について	よく理解している	456 100.0%	156 34.2%	254 55.7%	32 7.0%	14 3.1%
	ある程度理解している	4,622 100.0%	1,045 22.6%	3,010 65.1%	452 9.8%	115 2.5%
	どちらともいえない	3,159 100.0%	549 17.4%	1,911 60.5%	588 18.6%	111 3.5%
	あまり理解していない	12,955 100.0%	1,655 12.8%	8,333 64.3%	2,547 19.7%	420 3.2%
	まったく理解していない	7,772 100.0%	657 8.5%	4,961 63.8%	1,901 24.5%	253 3.3%
	無回答	209 100.0%	14 6.7%	34 16.3%	11 5.3%	150 71.8%

(5) 入院中の患者への計画的な医療内容の提供

① 全体傾向

入院中の患者への計画的な医療内容の提供については、「少しできている」という回答が42.2%でもっとも多く、次いで「どちらとも言えない」(30.6%)、「よくできている」(16.7%)の順に多い。できていないという回答は1割もなく、比較的高い評価である。

医師と看護師を比較すると、医師の場合は「よくできている」という回答が40.0%で、看護師と比べ30.5ポイント高い。職制との関係では有意であり、医師の方が看護師に比べ非常に高い評価となっている。(分割表分析係数=0.3503、P値<0.01)



		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらとも言えない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173	4,885	12,303	8,931	1,814	298	942
		100.0%	16.7%	42.2%	30.6%	6.2%	1.0%	3.2%
職性別	医師	6,855	2,740	2,791	1,006	144	37	137
		100.0%	40.0%	40.7%	14.7%	2.1%	0.5%	2.0%
	看護師	21,600	2,059	9,269	7,742	1,636	252	642
		100.0%	9.5%	42.9%	35.8%	7.6%	1.2%	3.0%
	無回答	718	86	243	183	34	9	163
		100.0%	12.0%	33.8%	25.5%	4.7%	1.3%	22.7%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、「よくできている」という回答は、60歳代以上で47.5%、50歳代で47.9%あるのに対し、20歳代では23.2%にとどまっている。年代があがるほど評価が高くなる傾向が見られ、年代との間には弱い相関が見られる。

イ. 種別

DPCの導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院で「よくできている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、東北で「よくできている」という回答割合がやや低いが、回答傾向には大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、外科系の方が「よくできている」という回答割合が高いのに対し、その他では「どちらともいえない」という回答割合が高く、診療科との間には弱い相関が見られる。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
医師全体		6,855 100.0%	2,740 40.0%	2,791 40.7%	1,006 14.7%	144 2.1%	37 0.5%	137 2.0%
年代別	20歳代	1,020 100.0%	237 23.2%	507 49.7%	219 21.5%	28 2.7%	9 0.9%	20 2.0%
	30歳代	2,720 100.0%	1,061 39.0%	1,149 42.2%	411 15.1%	41 1.5%	13 0.5%	45 1.7%
	40歳代	1,987 100.0%	939 47.3%	717 36.1%	241 12.1%	54 2.7%	7 0.4%	29 1.5%
	50歳代	678 100.0%	325 47.9%	244 36.0%	75 11.1%	11 1.6%	6 0.9%	17 2.5%
	60歳代以上	118 100.0%	56 47.5%	40 33.9%	13 11.0%	1 0.8%	0 0.0%	8 6.8%
	無回答	332 100.0%	122 36.7%	134 40.4%	47 14.2%	9 2.7%	2 0.6%	18 5.4%
	種別	DPC病院	3,808 100.0%	1,511 39.7%	1,519 39.9%	571 15.0%	86 2.3%	30 0.8%
試行的適用病院		2,526 100.0%	1,052 41.6%	1,021 40.4%	359 14.2%	47 1.9%	7 0.3%	40 1.6%
調査協力病院		521 100.0%	177 34.0%	251 48.2%	76 14.6%	11 2.1%	0 0.0%	6 1.2%
設置主体別	大学病院	3,784 100.0%	1,493 39.5%	1,514 40.0%	571 15.1%	85 2.2%	30 0.8%	91 2.4%
	国立病院	611 100.0%	269 44.0%	242 39.6%	82 13.4%	10 1.6%	1 0.2%	7 1.1%
	社会保険病院	777 100.0%	303 39.0%	332 42.7%	117 15.1%	9 1.2%	2 0.3%	14 1.8%
	公的病院	253 100.0%	98 38.7%	120 47.4%	25 9.9%	5 2.0%	0 0.0%	5 2.0%
	民間病院	1,430 100.0%	577 40.3%	583 40.8%	211 14.8%	35 2.4%	4 0.3%	20 1.4%
地域別	北海道	454 100.0%	186 41.0%	181 39.9%	61 13.4%	11 2.4%	6 1.3%	9 2.0%
	東北	423 100.0%	147 34.8%	174 41.1%	77 18.2%	9 2.1%	3 0.7%	13 3.1%
	関東	972 100.0%	393 40.4%	389 40.0%	142 14.6%	19 2.0%	3 0.3%	26 2.7%
	東京	422 100.0%	161 38.2%	176 41.7%	57 13.5%	14 3.3%	3 0.7%	11 2.6%
	中部	1,234 100.0%	495 40.1%	492 39.9%	191 15.5%	30 2.4%	10 0.8%	16 1.3%
	関西	1,325 100.0%	555 41.9%	520 39.2%	208 15.7%	22 1.7%	2 0.2%	18 1.4%
	中国・四国	771 100.0%	317 41.1%	304 39.4%	114 14.8%	17 2.2%	6 0.8%	13 1.7%
	九州	1,254 100.0%	486 38.8%	555 44.3%	156 12.4%	22 1.8%	4 0.3%	31 2.5%
診療科別	内科系	2,979 100.0%	1,095 36.8%	1,281 43.0%	460 15.4%	73 2.5%	14 0.5%	56 1.9%
	外科系	3,201 100.0%	1,471 46.0%	1,239 38.7%	377 11.8%	54 1.7%	9 0.3%	51 1.6%
	その他	583 100.0%	142 24.4%	232 39.8%	154 26.4%	15 2.6%	14 2.4%	26 4.5%
	無回答	92 100.0%	32 34.8%	39 42.4%	15 16.3%	2 2.2%	0 0.0%	4 4.3%

③ 看護師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よくできている」という回答割合が高くなるのに対し、年代がさがるほど「どちらともいえない」という回答割合が高くなるが、回答傾向に大きな差は見られない。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

エ. 地域別

地域別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、回答傾向に大きな差は見られない。

		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
看護師全体		21,600 100.0%	2,059 9.5%	9,269 42.9%	7,742 35.8%	1,636 7.6%	252 1.2%	642 3.0%
年代別	20歳未満	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	12,237 100.0%	910 7.4%	5,189 42.4%	4,859 39.7%	896 7.3%	132 1.1%	251 2.1%
	30歳代	5,228 100.0%	558 10.7%	2,227 42.6%	1,776 34.0%	434 8.3%	64 1.2%	169 3.2%
	40歳代	2,573 100.0%	344 13.4%	1,158 45.0%	726 28.2%	202 7.9%	33 1.3%	110 4.3%
	50歳代	1,076 100.0%	197 18.3%	489 45.4%	227 21.1%	74 6.9%	13 1.2%	76 7.1%
	60歳代以上	22 100.0%	1 4.5%	8 36.4%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%
	無回答	462 100.0%	48 10.4%	198 42.9%	146 31.6%	29 6.3%	10 2.2%	31 6.7%
種別	DPC病院	8,490 100.0%	769 9.1%	3,662 43.1%	3,069 36.1%	653 7.7%	113 1.3%	224 2.6%
	試行的適用病院	10,390 100.0%	1,085 10.4%	4,445 42.8%	3,696 35.6%	725 7.0%	104 1.0%	335 3.2%
	調査協力病院	2,720 100.0%	205 7.5%	1,162 42.7%	977 35.9%	258 9.5%	35 1.3%	83 3.1%
設置主体別	大学病院	8,432 100.0%	748 8.9%	3,642 43.2%	3,056 36.2%	649 7.7%	113 1.3%	224 2.7%
	国立病院	2,016 100.0%	203 10.1%	897 44.5%	687 34.1%	150 7.4%	27 1.3%	52 2.6%
	社会保険病院	3,182 100.0%	278 8.7%	1,342 42.2%	1,213 38.1%	229 7.2%	23 0.7%	97 3.0%
	公的病院	1,062 100.0%	123 11.6%	503 47.4%	295 27.8%	96 9.0%	10 0.9%	35 3.3%
	民間病院	6,908 100.0%	707 10.2%	2,885 41.8%	2,491 36.1%	512 7.4%	79 1.1%	234 3.4%
地域別	北海道	1,654 100.0%	189 11.4%	721 43.6%	586 35.4%	106 6.4%	19 1.1%	33 2.0%
	東北	1,742 100.0%	193 11.1%	716 41.1%	596 34.2%	107 6.1%	28 1.6%	102 5.9%
	関東	3,385 100.0%	272 8.0%	1,332 39.4%	1,389 41.0%	255 7.5%	46 1.4%	91 2.7%
	東京	1,611 100.0%	172 10.7%	663 41.2%	608 37.7%	105 6.5%	14 0.9%	49 3.0%
	中部	3,529 100.0%	263 7.5%	1,530 43.4%	1,270 36.0%	329 9.3%	41 1.2%	96 2.7%
	関西	3,795 100.0%	403 10.6%	1,688 44.5%	1,298 34.2%	276 7.3%	34 0.9%	96 2.5%
	中国・四国	2,391 100.0%	247 10.3%	1,081 45.2%	804 33.6%	168 7.0%	29 1.2%	62 2.6%
	九州	3,493 100.0%	320 9.2%	1,538 44.0%	1,191 34.1%	290 8.3%	41 1.2%	113 3.2%
診療科別	内科系	7,457 100.0%	601 8.1%	3,071 41.2%	2,881 38.6%	608 8.2%	84 1.1%	212 2.8%
	外科系	8,978 100.0%	918 10.2%	4,035 44.9%	3,047 33.9%	658 7.3%	89 1.0%	231 2.6%
	その他	4,497 100.0%	477 10.6%	1,895 42.1%	1,583 35.2%	306 6.8%	71 1.6%	165 3.7%
	無回答	668 100.0%	63 9.4%	268 40.1%	231 34.6%	64 9.6%	8 1.2%	34 5.1%

④ DPCの理解度との関連

DPC の理解度との関連性をみると、DPC の診断群分類、包括の範囲についての理解度が高いほど、「よくできている」という回答割合が高くなる傾向にある。DPC に対する理解度と計画的な医療内容の提供の関係は有意であり、強い相関が見られる。

(質問 1 とのクロス分析：分割表分析係数=0.3151、P 値<0.01、質問 2 とのクロス分析：分割表分析係数=0.3214、P 値<0.01)

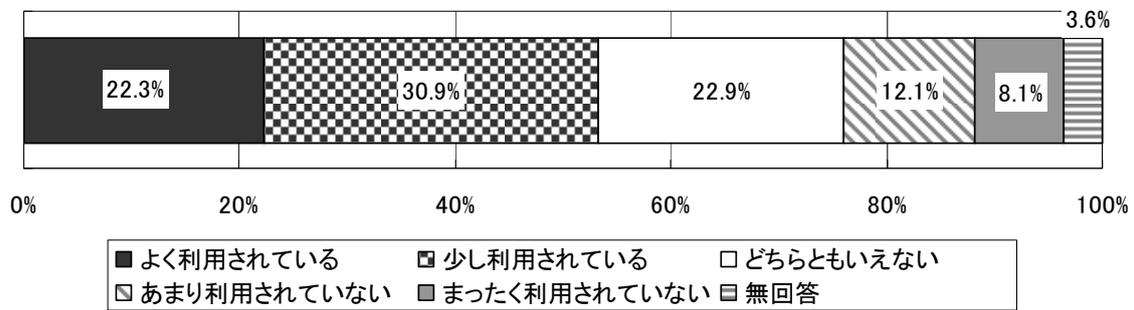
		サンプル数	よくできている	少しできている	どちらともいえない	あまりできていない	まったくできていない	無回答
全体		29,173 100.0%	4,885 16.7%	12,303 42.2%	8,931 30.6%	1,814 6.2%	298 1.0%	942 3.2%
DPCの理解度(診断群分類(質問1)について)	よく理解している	513 100.0%	322 62.8%	130 25.3%	33 6.4%	10 1.9%	1 0.2%	17 3.3%
	ある程度理解している	6,129 100.0%	1,950 31.8%	2,825 46.1%	963 15.7%	204 3.3%	24 0.4%	163 2.7%
	どちらともいえない	3,216 100.0%	408 12.7%	1,422 44.2%	1,187 36.9%	104 3.2%	11 0.3%	84 2.6%
	あまり理解していない	12,605 100.0%	1,571 12.5%	5,379 42.7%	4,290 34.0%	931 7.4%	90 0.7%	344 2.7%
	まったく理解していない	6,494 100.0%	619 9.5%	2,514 38.7%	2,431 37.4%	560 8.6%	172 2.6%	198 3.0%
	無回答	216 100.0%	15 6.9%	33 15.3%	27 12.5%	5 2.3%	0 0.0%	136 63.0%
	DPCの理解度(包括の範囲(質問2)について)	よく理解している	456 100.0%	303 66.4%	95 20.8%	28 6.1%	10 2.2%	2 0.4%
ある程度理解している	4,622 100.0%	1,640 35.5%	2,078 45.0%	621 13.4%	142 3.1%	12 0.3%	129 2.8%	
どちらともいえない	3,159 100.0%	466 14.8%	1,432 45.3%	1,066 33.7%	87 2.8%	14 0.4%	94 3.0%	
あまり理解していない	12,955 100.0%	1,691 13.1%	5,723 44.2%	4,218 32.6%	888 6.9%	75 0.6%	360 2.8%	
まったく理解していない	7,772 100.0%	776 10.0%	2,944 37.9%	2,969 38.2%	684 8.8%	193 2.5%	206 2.7%	
無回答	209 100.0%	9 4.3%	31 14.8%	29 13.9%	3 1.4%	2 1.0%	135 64.6%	

(6) クリティカルパスの利用状況

① 全体傾向

クリティカルパスの利用状況は、「少し利用されている」という回答割合が 30.9%で最も高く、「よく利用されている」(22.3%)という回答をあわせると、5割強の職員が利用していると回答しており、比較的高い利用状況である。

医師と看護師を比較すると、医師は看護師に比べ「あまり利用されていない」という回答が 3.5ポイント、「まったく利用されていない」という回答が 5.7ポイント上回っており、医師の方がクリティカルパスの利用がやや低い。



		サンプル数	よく利用されている	少し利用されている	どちらともいえない	あまり利用されていない	まったく利用されていない	無回答
全体		29,173	6,503	9,020	6,674	3,539	2,374	1,063
		100.0%	22.3%	30.9%	22.9%	12.1%	8.1%	3.6%
職性別	医師	6,855	1,408	1,933	1,491	1,015	858	150
		100.0%	20.5%	28.2%	21.8%	14.8%	12.5%	2.2%
	看護師	21,600	4,965	6,910	5,061	2,441	1,469	754
		100.0%	23.0%	32.0%	23.4%	11.3%	6.8%	3.5%
	無回答	718	130	177	122	83	47	159
		100.0%	18.1%	24.7%	17.0%	11.6%	6.5%	22.1%

② 医師の傾向

ア. 年代別

年代別でみると、年代があがるほど「よく利用されている」、「少し利用されている」という回答割合がやや高くなる。大きくはないものの、年代による差が見られる。

イ. 種別

DPC の導入状況でみると、試行的適用病院で「よく利用されている」という割合が高いのに対し、調査協力病院では「まったく利用されていない」という回答割合が高くなる。DPC の導入状況とクリティカルパスの利用状況の関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2392、P 値<0.01)

ウ. 設置主体別

設置主体別でみると、国立病院や民間病院、社会保険病院では「よく利用されている」という回答割合が高いのに対し、大学病院や公的病院では「よく利用されている」という回答割合が低い。特に、大学病院では「あまり利用されていない」、「まったく利用されていない」という回答割合が高い。設置主体とクリティカルパスの利用状況の関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2354、P 値<0.01)

エ. 地域別

地域別でみると、東北や東京で「よく利用されている」という回答割合がやや高いが、回答傾向に大きな差は見られない。

オ. 診療科別

診療科別でみると、「よく利用されている」という回答割合は外科系の方が内科系やその他に比べて高いのに対し、「まったく利用されていない」という回答割合は内科系およびその他の方が外科系に比べて高く、外科系でのクリティカルパスの利用率が高い。クリティカルパスの利用状況と診療科との関係は有意であり、相関が見られる。(分割表分析係数=0.2052、P 値<0.01)